

ステークホルダーの皆様へ

グローバルトップ企業の実現



代表取締役社長 兼 COO

大原 靖



代表取締役会長 兼 CEO

長 勇

～キーワードは「スピード」～

当社グループでは、2017年の創業100周年、さらにその先のあるべき姿として「長期ビジョン2020」を掲げています。この長期ビジョンは、グローバルトップあるいはニッチトップの商品を数多く生み出し、ターゲット市場で確固たる地位（シェア）を確立した「グローバルトップ企業」を目指すものであり、「連結売上高3,000億円、営業利益率10%、海外売上高比率70%」を数値目標としています。

この長期ビジョンの実行計画である「中期経営計画2016」の初年度にあたる2014年度は、チェーン、精機、自動車部品、マテハンの主要4事業すべてで増収増益を達成、連結ベースの売上高と利益が過去最高を更新するという好結果を残すことができました。海外売上高比率は54.0%へと上昇、成長の軸足を海外市場にシフトしていくという当社グループの戦略も順調に進展しています。

しかし、未達成の課題はまだあります。長期ビジョンを達成するためには、これまで以上のスピードが必要です。すでにグローバルNo.1の地位を獲得しているスチールチェーンや自動車用のタイミングチェーンドライブシステムでは、性能・品質における優位性を一層拡大するとともに、日本や北米市場と比べてシェアの低い欧州や中国市場での売上拡大が急務となっています。また、精機事業やマテハン事業でも新商品の開発を進めて商品力を高めるとともに、グローバル化を一層促進する必要があります。

これらの課題に対してスピードを上げて対処していくために、2015年6月より「CEO（最高経営責任者）」と「COO（最高執行責任者）」の2トップ体制としました。具体的には、2009年度より6年間にわたって代表取締役社長を務めてきた長勇が「代表取締役会長兼CEO」に就任、約10年にわたる海外勤務の後、経営企画室長、グローバルバワトラ営業本部長を歴任してきた大原靖が「代表取締役社長兼COO」に就任し、経営体制の強化を図っております。

つばきグループは、市場ごとに異なる多様なニーズを的確にとらえ、スピーディーな商品開発を強化するとともに、「生産性向上」「環境負荷低減」などの観点からお客様にとって高い付加価値を持つ商品を提供することで、社会貢献を果たしていきます。それが市場シェアの上昇や業績面での成長力強化につながり、企業価値向上につながるものと確信しています。

ステークホルダーの皆様には今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

長 勇

代表取締役会長 兼 CEO

大原 靖

代表取締役社長 兼 COO